



8月号

2020年8月1日
 発行 長上 苑
 ショートステイ
 浜松市東区中田町
 584
 ☎ (053) 411-0011
 NO. 171

夏が来れば思い出す、あの頃！

蝉の鳴く季節になりました。私の家の前の小さな公園には、大きな木が二本あり、毎年夏になると近所の子供達が虫取り網とカゴを持って蝉取りに来ます。そんな風景を見ていると、自分の子供時代を思い出します。

今から何十年前か前、夏休みになると毎朝ラジオ体操を蝉が鳴くお寺の境内で行っていました。私はラジオ体操が終わっても、友達とそのままお寺で縄跳びや缶蹴り、馬とびなどをして遊んでいました。すると、そこに母が迎えに来て「早く朝ご飯を食べなさい」と、いつも叱られ家に連れ戻されました。

朝食を食べ終わって勉強机に取り合えず座り、母の目を盗んではまた遊びに行っていました。そのまま夕方まで遊び自宅へ戻ると、母が宿題をする私に付きっ切りになっていました。蝉の声を聴くとそんな思いでが昨日の事のようによみがえります。今となっては良い思い出です。

二階サブリーダー 内田 久美子

特別メニュー



「ぼく飯」



「冷やしそうめん」

誰でも食事は楽しみの一つだと思います。当苑では開設以来、「食」にはこだわりがあり、その素材や調味料に至るまで栄養士が吟味してきました。そんなこだわりの食事ですが、季節に合わせて「特別食」を企画しております。そこで今回は先月ご提供した特別食を紹介いたします。

まず上段の写真は「ぼく飯」という浜松の郷土料理で、目を凝らして見ると中央に鰻が載っているのが分かります。これは養鰻業の方の賄飯です。養殖池でうまく逃げ回り出荷を逃れ、どんどん成長し人の腕のようにまで大きくなる鰻がいて、それが棒杭のようなので「ぼつくい」「ぼく」と呼び、出荷できないため「ぼく飯」と名付けて賄食としたそうです。下段はそうめんですが、写真ではお分かりいただけだと思いますが、器が氷で出来ております。冷たくてとても喉越しが良く、夏を実感いたしました。

しおさい竜洋



六月から再開した外出レクですが、先月は「しおさい竜洋」へ散策に行ってきました。まだ限定五名として二日間に渡って企画いたしました。どちらの日も募集開始直後に定員に達してしまいうほどの人気ぶりでした。今後も状況を見ながら準備していきたいと思えます。

さて、散策の方はまだ梅雨明け前の十六日でしたが、朝から晴天で気温は三十度弱。風はとてもさわやかで海を見ながら散策していると、海面をピョンピョン飛び跳ねる魚がいました。その魚はボラです。ボラが飛び跳ねる理由は解明されていないようですが、皆さんと一緒に初夏のひと時を「ボラダンス」で楽しみました。

イベントのお知らせ 令和二年八月

- ギターボラ 五日
- マンドリンボラ 十日
- 喫茶開店日 十四・二十八日
- 音楽療法 十八・二十七日
- 手作りおやつ 二十三日

当地浜松でも七月末に夜の街関連のクラスターが発生し、一挙に感染者数を増やしました。今後夜の街から家族間の感染へと拡大していくと、一挙に市中感染へと広がってしまいますので、行政任せではなく、私たち施設としてもできる感染対策を行っていききたいと思います。そんな中、先月末から面会を控えていただいておりますが、パソコンを使って面会ができるよう準備しております。当面は平日の九時から十七時の対応ですが、ご希望される方は職員までお申し出ください。



8月号

2020年8月1日
 発行 長上 苑
 ショートステイ
 浜松市東区中田町
 584
 ☎ (053) 411-0011
 NO. 171

夏が来れば思い出す、あの頃！

蝉の鳴く季節になりました。私の家の前の小さな公園には、大きな木が二本あり、毎年夏になると近所の子供達が虫取り網とカゴを持って蝉取りに来ます。そんな風景を見ていると、自分の子供時代を思い出します。

今から何十年前か前、夏休みになると毎朝ラジオ体操を蝉が鳴くお寺の境内で行っていました。私はラジオ体操が終わっても、友達とそのままお寺で縄跳びや缶蹴り、馬とびなどをして遊んでいました。すると、そこに母が迎えに来て「早く朝ご飯を食べなさい」と、いつも叱られ家に連れ戻されました。朝食を食べ終わって勉強机に取り合えず座り、母の目を盗んではまた遊びに行っていました。そのまま夕方まで遊び自宅へ戻ると、母が宿題をする私に付きっ切りになっていました。蝉の声を聴くとそんな思い出が昨日の事のようによみがえります。今となっては良い思い出です。

二階サブリーダー 内田 久美子

特別メニュー



「ぼく飯」



「冷やしそうめん」

誰でも食事は楽しみの一つだと思います。当苑では開設以来、「食」にはこだわりがあり、その素材や調味料に至るまで栄養士が吟味してきました。そんなこだわりの食事ですが、季節に合わせて「特別食」を企画しております。そこで今回は先月ご提供した特別食を紹介いたします。

まず上段の写真は「ぼく飯」という浜松の郷土料理で、目を凝らして見ると中央に鰻が載っているのが分かります。これは養鰻業の方の賄飯です。養殖池でうまく逃げ回り出荷を逃れ、どんどん成長し人の腕のようにまで大きくなる鰻がいて、それが棒杭のようなので「ぼつくい」「ぼく」と呼び、出荷できないため「ぼく飯」と名付けて賄食としたそうです。下段はそうめんですが、写真ではお分かりいただけだと思いますが、器が氷で出来ております。冷たくとても喉越しが良く、夏を実感いたしました。

しおさい竜洋



六月から再開した外出レクですが、先月は「しおさい竜洋」へ散策に行ってきました。まだ限定五名として二日間に渡って企画いたしました。どちらの日も募集開始直後に定員に達してしまいうほどの人気ぶりでした。今後も状況を見ながら準備していきたいと思っております。

さて、散策の方はまだ梅雨明け前の十六日でしたが、朝から晴天で気温は三十度弱。風はとてもさわやかで海を見ながら散策していると、海面をピョンピョン飛び跳ねる魚がいました。その魚はボラです。ボラが飛び跳ねる理由は解明されていないようですが、皆さんと一緒に初夏のひと時を「ボラダンス」で楽しみました。

イベントのお知らせ 令和二年八月

- ギターボラ 五日
- マンドリンボラ 十日
- 喫茶開店日 十四・二十八日
- 音楽療法 十八・二十七日
- 手作りおやつ 二十三日

当地浜松でも七月末に夜の街関連のクラスターが発生し、一挙に感染者数を増やしました。今後夜の街から家族間の感染へと拡大していくと、一挙に市中感染へと広がってしまいますので、行政任せではなく、私たち施設としてもできる感染対策を行っていききたいと思います。そんな中、先月末から面会を控えていただいておりますが、パソコンを使って面会ができるよう準備しております。当面は平日の九時から十七時の対応ですが、ご希望される方は職員までお申し出ください。

